

白血病細胞 | 治療の経過を追って

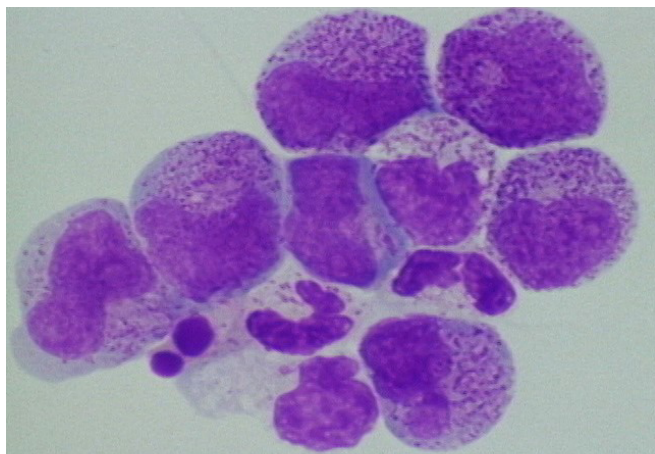
1998
作品ナンバー0518

1999年第9回 TEPIA ハイテク・ビデオ・コンクール奨励賞

白血病の発病の原因となる異変を起こした白血病性幹細胞の増殖や動態については、まだ未知の部分が多い。顕微鏡撮影によって白血病細胞の姿と動態に迫った。

■協力

阿部達生（京都府立医科大学衛生学）
奈良信雄（東京医科歯科大学医学部 臨床検査医学）
楠本修也 小林功幸 矢ヶ崎史治（埼玉医科大学第一内科）
埼玉医科大学第一内科医療スタッフ
辻 浩一郎 海老原康博 田中竜平 巢山郁子 山田 薫（東京大学医科学研究所癌病態研究部）
長村文孝（東京大学医科学研究所病態薬理研究部）
高橋恒夫 丸山みどり 芹沢 領（東京大学医科学研究所細胞プロセス研究部門）
森 和博（新潟大学理学部生物学科）
相沢 信（日本大学医学部解剖学）



長い間、白血病は、不治の疾患の代表とされてきたが、多くの白血病は、化学療法や骨髄移植の進歩により、治癒が可能な疾患となってきた。しかし白血病発症の原因とされる変異を起こした血液幹細胞である白血病性幹細胞の増殖や動態については、未知のベールに包まれている。

映画は、骨髄ストローマ細胞と共培養する Dxter 培養法を用いて白血病細胞の増殖動態について、正常造血細胞とどのように異なるかを生きた細胞の姿としてとらえることに成功した。一人の患者さんの治療前と寛解導入療法（化学療法）後の骨髄内の細胞の姿を顕微鏡撮影によって見事にとらえ、治療の成果を観察記録した学術映像である。

記録

フィルム
カラー／3分
日・英・中国語版

■企画

中外製薬株式会社

■監修

平嶋邦猛（埼玉医科大学教授）
外山主助（東京医科大学教授）
浅野茂隆（東京大学医科学研究所教授）
中畑龍俊（東京大学医科学研究所教授）
中内啓光（筑波大学教授）

■指導

別所正美（埼玉医科大学教授）
陣内逸郎（長崎大学）
東條有伸（東京大学医科学研究所）

スタッフ

■製作

村山英世

■脚本・演出

花崎 哲

■演出助手

森 吉美 高崎理香

■顕微鏡撮影

鈴木博之 新藤多門

■実景撮影

山屋恵司 木村光男

今野聖輝

■実景照明

本橋俊男

■ネガ編集

加納宗子

■CG

高田 悟

■選曲

山崎 宏

■録音スタジオ

東亜映像録音

■現像

IMAGICA

■解説

横 大輔 小椋恵子